

## 平成 30 年 第 11 回 三朝町教育委員会 臨時会 日程

と き：平成 30 年 12 月 13 日（木）午後 4 時 30 分

と ころ：三朝町役場 第 1 会議室

1 開 会

2 前回議事録承認

芦田委員、中前委員

3 議事録署名委員指名

4 報告事項

5 議 事

6 協議事項

小学校統合にかかる通学方法及び通学費補助について

小学校統合にかかる放課後児童対策について

7 その他

8 閉 会

次回定例会：平成 30 年 12 月 21 日（金） 9：30 ～ （参考 H29.12.20：水）

## 協議事項

### 小学校統合にかかる通学方法について

#### 1 検討の経過と課題

これまで通学方法については、統合準備委員会で以下の基本的考え方が協議されてきましたが、実施の検討において課題が浮き彫りとなりました。

##### (1) スクールバスの導入

最初にスクールバスの導入を検討しましたが、中部圏域等でスクールバスを受託しているバス会社への聞き取りでは人員確保等が困難であり、導入には多額の委託費が新たに発生することとなります。

また、導入により路線バスの利用者が減少することにより、路線バスの便数が減る可能性が想定されます。

これにより、路線バス維持のために町が負担するバス運行対策費補助金の増額が想定されます。

スクールバスを導入するメリット以上の路線バス維持のためのデメリットが生じることが明らかであり、実施は困難であると見込んでいます。

##### (2) スクールバスと路線バスの併用

次に東小学校と南小学校付近までスクールバスを運行し、各学校近くから自宅までの間を路線バス等の利用とした場合も検討しましたが、上記(1)の検討結果(スクールバスの対応可能事業者が現実的にいない。)から実施は困難と見込んでいます。

##### (3) 路線バスの利用

公共交通の維持も考慮すると路線バスを利用した通学方法が考えられますが、現在の遠距離通学費補助制度では、東小学校及び南小学校から2km以内の児童については、通学費の負担増となります。

#### ○小学生通学方法別の想定される経費

(単位:千円/年)

案	内容	方法	初期	経費
全線 スクールバス	5路線 登校6便 下校15便 (5路線3回)	委託 登校:神倉、吉原、三朝、実光、木地山、下畑 下校:神倉、吉原、実光、木地山、下畑	—	58,000
		直営中型2、マイクロバス4台、運転手6名	62,000	11,600
路線バス利用 (平成30年度の状況で想定)	登校 三朝線1便増 下校 片柴まで延長	遠距離通学補助(現行制度、2km分控除) 学校から2km以上の生徒が対象 東南2km以内の児童は定期購入で想定	—	4,100
		遠距離通学補助(定期券購入全額補助) 学校から2km以上の児童が対象	—	6,900
		定期券無償配布 学校から2km以上の児童が対象	—	9,000
東、南小学校 からスクール バス 東、南のみ乗車	2路線 登校2便 下校6便 (2路線3回)	委託 登校:片柴、穴鴨 下校:片柴、穴鴨	—	19,200
		直営(通学補助+運行経費) 中型1、マイクロバス1、運転手2名	23,000	5,300

※ 直営によるスクールバス購入については、国が通知する額を限度として購入費の1/2が国から交付されます。(H29年度実績:4,700千円/台)

※ 平成 29 年度に三朝町が支援している小学校遠距離通学補助金は、通学距離が 2 km 以上の児童を対象としており、三朝町が小学生児童保護者に支援した小学校遠距離通学補助金額は 1,540 千円です。

三朝町に交付される特別交付税額の対象は、平成 29 年度に三朝町が小学生児童保護者に支援した小学校遠距離通学補助金のうち、通学距離が 4 km 以上の児童の保護者に支援した金額 812 千円の 8 割とされ約 650 千円が交付されると推計されます。

## 2 教育委員会事務局としての提案

上記の検討結果を踏まえ、事務局としてはスクールバスの代わりとして路線バスの利用を提案しますが、現状とその実施に伴う課題については以下のとおりです。

### (1) 路線別の乗車児童数の見込みについて (H31. 4. 1 時点)

路線	発着	乗車区間	乗車児童数
三朝線 (三徳方面)	三徳山駐車場	三徳山～役場前	32 人
三朝線 (小鹿方面)	神倉	神倉～役場前	39 人
三朝線	三朝車庫	三朝車庫～役場前	31 人
小河内線 (実光方面)	実光	実光～西小前	11 人
穴鴨線 (木地山方面)	木地山	木地山～西小前	20 人
穴鴨線 (西谷方面)	上西谷	上西谷～西小前	13 人

### (2) 現行の運行ダイヤと改正ダイヤ (案)

バス会社の人員確保の面から増便は困難であり、登下校ともダイヤ調整での対応を検討します。

《登校時》

三朝線【三朝車庫発※1】については、到着時刻を他の便と合わせるため、現在ダイヤより 5 分程度ずらす改正を提案しています。(降車後 7 時 50 分学校着を想定)

運行時刻別 乗車人数 (時間は路線バスを想定した場合)

始発場所	出発時間	到着時間	乗車人数	備考
上吉原	7:22	7:45	32	三徳・小鹿方面 106 名
神倉	7:20	7:45	39	
三朝車庫	7:29※1	7:39	31	
実光	7:27	7:48	11	木地山・下畑方面 32 名
木地山	7:12	7:43	20	
上西谷	7:23	7:48	13	

《下校時》

学年により異なる下校時間 (通常時) に合わせた調整が必要となります。

学年	下校時刻	
低学年 (1, 2 年生)	5 校時終了後、帰りの会	15:15
中学年 (3, 4 年生)	6 校時～帰りの会 (放課後活動)	16:05
高学年 (5, 6 年生)	6 校時～帰りの会 (放課後活動)	16:30

現在、バス会社とダイヤ改正（案）の調整をしており、提示された（案）は以下のとおりです。  
 なお、竹田方面はバス会社からの提案待ちです。

【三徳方面】

	吉原行	三朝車庫行	三徳山行	吉原行	三徳山行	三朝車庫行	吉原行
始発停留所	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅
三朝町役場前	12:20	12:58	13:38	14:53	15:37	16:30	16:53
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
三朝車庫	12:29	13:07	13:47	15:02	15:46	16:40	17:02
	↓		↓	↓	↓		↓
片柴	12:32		13:50	15:05	15:49		17:05
	↓		↓	↓	↓		↓
三徳山駐車場	12:42		14:00	15:15	15:59		17:15
折り返し(倉吉駅)	12:50発	13:33発	14:04発	15:29発	16:02発	16:49発	17:23発
備考							
要望						路線延長	

ダイヤ改正(案)

【三徳方面】

	吉原行	三朝車庫行	三徳山行	三朝車庫行	三徳山行	吉原行	吉原行
始発停留所	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅	倉吉駅
三朝町役場前	12:20	12:58	13:38	14:53	15:37	16:24	16:53
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
三朝車庫	12:29	13:07	13:47	15:02	15:46	16:33	17:02
	↓		↓		↓	↓	↓
片柴	12:32		13:50		15:49	16:36	17:05
	↓		↓		↓	↓	↓
三徳山駐車場	12:42		14:00		15:59	16:46	17:15
折り返し(倉吉駅)	12:50発	13:33発	14:04発	15:42発	16:02発	16:49発	17:19発
備考				発着入替		発着入替	

【小鹿方面】

	神倉行	神倉行	三朝車庫行	神倉行	三朝車庫行	三朝車庫行	神倉行
始発停留所	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫
三朝町役場前	11:23	12:49	14:25	14:57	15:25	16:55	17:21
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
三朝車庫	11:33	12:57	14:35	15:07	15:35	17:05	17:31
	↓	↓		↓			↓
片柴	11:36	13:02		15:10			17:34
	↓	↓		↓			↓
神倉	11:46	13:12		15:20			17:46
折り返し(生田車庫)	12:00発	回送	14:52発	15:21発	16:00発	17:40発	18:03発
備考			倉吉駅行				三朝車庫発
要望			路線延長	入替かつ15時台に変更			

ダイヤ改正(案)

【小鹿方面】

	神倉行	三朝車庫行	神倉行	三朝車庫行	神倉行	三朝車庫行	神倉行
始発停留所	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫	生田車庫
三朝町役場前	11:23	12:48	14:26	14:56	15:26	16:55	17:21
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
三朝車庫	11:33	12:58	14:35	15:06	15:35	17:05	17:31
	↓		↓		↓		↓
片柴	11:36		14:38		15:38		17:34
	↓		↓		↓		↓
神倉	11:46		14:48		15:48		17:46
折り返し(生田車庫)	12:00発	13:16発	15:04発	15:34発	15:49発	17:40発	18:03発
備考			倉吉駅行				三朝車庫発
要望			←入替改正→		←入替改正→		

下校時 運行時刻別 乗車人数 (路線バスを想定した場合)

三徳・神倉方面	役場前	三朝車庫	片柴	終点	乗車人数	備考
	12:20	12:29	12:32	上吉原		
	12:48	12:58		三朝車庫		
	12:58	13:07		三朝車庫		
	13:38	13:47	13:50	三徳山		
	14:26	14:35	14:38	神倉		
	14:53	15:02		三朝車庫		
	14:56	15:06		三朝車庫		
1・2年	15:26	15:35	15:38	神倉	15	片柴までの17人は別れて乗車
1・2年	15:37	15:46	15:49	三徳山	13	
	15:55	17:05		三朝車庫		
3・4年	16:24	16:33	16:36	三徳山	41	神倉方面 10名の対応
5・6年	16:53	17:02	17:05	上吉原	37	神倉方面 9名の対応
	16:55	17:05		三朝車庫		
	17:21	17:31	17:34	神倉		
実光方面	西小前			終点	乗車人数	備考
	12:02			実光		
1・2年	15:32			実光	5	
3～6年	16:40			実光	7	
	17:50			実光		
木地山・下畑方面	西小前		穴鴨	終点	乗車人数	備考
	13:56		14:15	下畑		
1・2年	15:30		15:49	木地山	12	上西谷方面 1名の対応
3～6年	16:40		16:59	上西谷	20	木地山方面 4名の対応
	17:40		18:01	木地山		

通学方法別の想定経費

(単位：千円/年)

案	内容	方法	初期	経費
全線 スクール バス	5路線21便 登校6便 下校15便 (5路線3回)	委託	—	58,000
		登校：神倉、吉原、三朝、実光、木地山、下畑 下校：神倉、吉原、実光、木地山、下畑		
		直営中型2、マイクロバス4台、運転手6名	62,000	11,600
路線バス 利用	東南2km以内 の児童は定期 購入で想定	遠距離通学補助 (現行制度)	—	4,100
		遠距離通学補助 (定期券購入全額補助)	—	6,900
		定期券無償配布	—	9,000

## 協議事項

### 小学校統合にかかる放課後児童対策について

今年9月に実施したアンケート調査結果では、小学校統合により、通学時間や児童の安全面から、新校舎の敷地内（若しくは隣接地）に新しい放課後児童の拠点施設整備を望む声が多く寄せられましたが、現状では平成31年4月の新施設の整備は困難であることから、当面の間、以下の運営方針とし、三徳地域協議会、竹田地域協議会と協議を進めていきます。

なお、今後の放課後児童のあり方について保護者、地域住民のご意見を踏まえたうえで、新施設整備にむけた検討を重ねていきます。

#### 【新施設整備までの間】

- (1) 西小学童クラブは当面の間、直営での運営を維持します。
- (2) 東小学童クラブについては、新施設整備までの間、従来の三徳センターで実施し、三徳地域協議会へ運営委託を行います。
- (3) 南小学童クラブについては、新施設整備までの間、従来の竹田公民館で実施し、竹田地域協議会へ運営委託を行います。

#### 【小学校統合後の課題解決を図るには】

##### (1) 施設面の課題について

小学校統合により、長年の懸案事項であった現在の西小学童クラブの施設整備が求められており、保護者の送迎等の利便性を考慮すると、今後の利用児童の増加も予想されるため、受け皿（新施設の建設・支援単位の分割）の整備を図る必要があります。

##### (2) 児童の安全確保について

通学方法を路線バスとする場合、東・南小校区の低学年の保護者から不安な声があること、また、現在の東・南の学童施設までの移動にタイムロスが生じることから、サービス水準の低下への懸念もあり、新小学校の敷地内（若しくは隣接地）へ集約・整備することが望ましいと考えます。

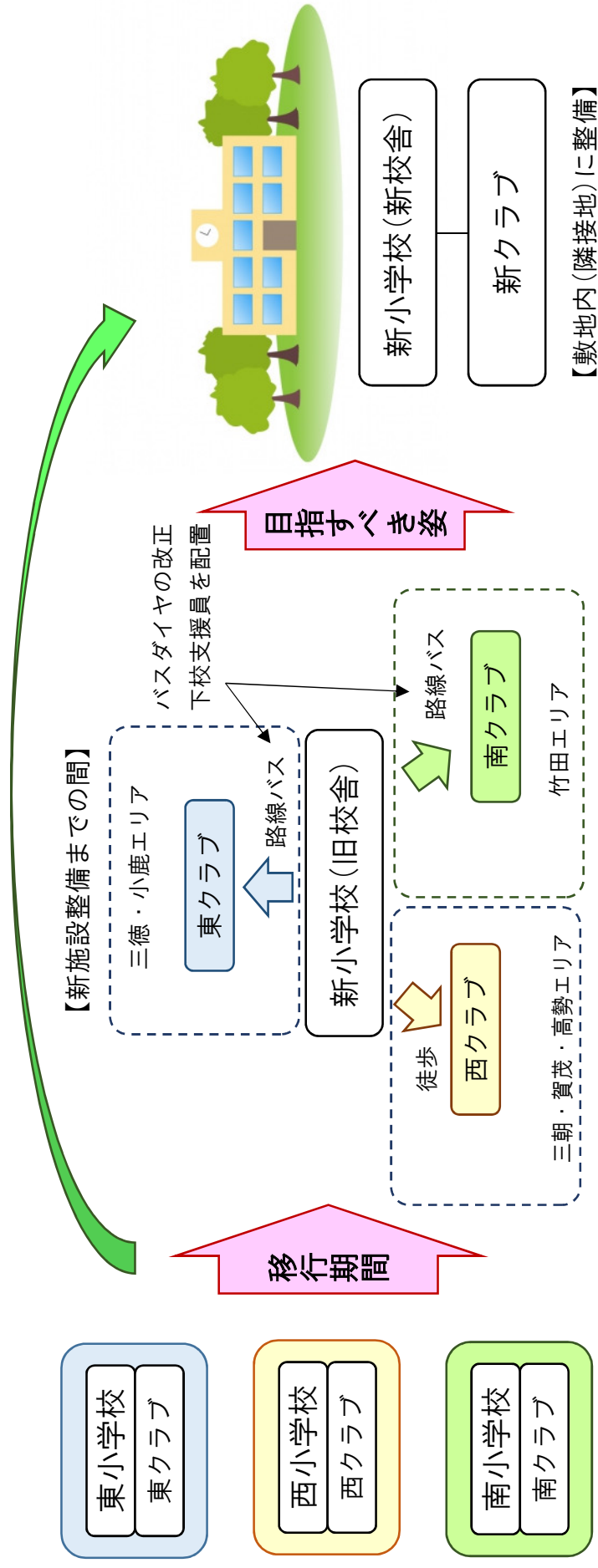
##### (3) 3小統合後の児童の意識の変化について

統合後、新しい友達の輪が増えていく中、下校後も一緒に放課後を過ごしたいという心情が生まれることが予想され、新小学校としての放課後の居場所づくりが求められます。

##### (4) 新施設整備の時期

新校舎建設と併せて放課後児童施設の整備を進める予定ですが、建設の具体的な用途は立っていないため、単独での整備も視野に検討を進めていく必要があります。

# 小学校統合と放課後児童対策について



各小学校にそれぞれの学童クラブを開設。

新施設整備までの当面の間、現在の3つの学童クラブを存続

※当面の対応として西学童クラブ改修も検討

### 【移送方法と安全対策】

- ・路線バスを基本とし、下校時に沿ったダイヤ改正を検討
- ・下校支援員を配置し、確実な乗車体制を確保
- ・降車から学童クラブまでの受入体制の充実(各地域協議会)

現状

3校統合(H31.4～)

新校舎建設～

